

小田急沿線の身近な自然散策道のご紹介

小田急沿線

自然ふれあい歩道

鵜沼海岸駅～藤沢本町駅コース (4.5km)

引地川沿いの緑と由緒ある寺社を巡って

相模川低地に位置し、相模原台地の南に広がる砂丘帯を流下する引地川の下流部を歩くコースです。このコース一帯は、かつては海に覆われており、海岸線が次第に後退するに従って、海岸線と平行した砂丘列を残しながら形成された沖積平野で、湘南砂丘帯と称されています。川沿いの緑道や植物園、社寺の緑など身近な自然と出会うことができます。

自然ふれあい歩道とは：「小田急沿線自然ふれあい歩道」には、小田急線の駅(全70駅)を起・終点とする手軽な散策道が70コースあります。その選定を2001年から進めてきましたが、2008年秋、70コース全てが完成いたしました。沿線には、身近にありながら、あまり知られていない魅力的な自然資源や文化財が数多くあります。小田急は、これらの見所を、沿線にお住まいの多くの皆さまに気軽に楽しんでもらうよう、快適な散歩コースにまとめています。ホームページには、各コースの紹介とともに、コースを巡回している自然情報提供員から報告される旬の情報を随時掲載しています。詳しくは、**小田急沿線自然ふれあい歩道のホームページをご覧ください。**

<http://www.odakyu.jp/walk/>

長久保公園都市緑化植物園



広いスペースに季節の草花がたくさん植えてある花のプロムナード、溪流広場、スイレンの池や和風庭園、江の島を見渡せる展望広場、広い芝生広場などがあり、市民の憩いの場になっています。ここにはトイレがあります。

インフォメーション

●開園時間：8：30～17：00 ●休園日：月曜と祝日の翌日
(月曜が祝日の場合は開園) ●電話：0466-34-8422

引地川緑道の 身近な草木

引地川両岸にある緑道には、さまざまな樹木が植えられています。海岸に近いことからクロマツが多く植えられています。サクラやフジ、ガクアジサイなど花のきれいな樹木も多く、歩く人々の目を楽しませてくれます。

水辺の植物

引地川の河原には、一般に水辺でよく見かけるオニグルミ^{※1}やタチヤナギ^{※2}などの樹木が生育しています。オニグルミは日本由来のクルミの木で、秋に実がなります。

ヤナギの仲間は、雌雄異株と言って雄木と雌木があります。

※1：オニグルミ：クルミ科の落葉高木／葉は大型の奇数羽状複葉／4月ごろ緑色の雄花穂が尾状に垂れ下がる／果実は球形で固い

※2：タチヤナギ：ヤナギ科の落葉小低木／日当たりの良い湿地や川岸に生える／マツの軸木に利用／木の姿が立ち上がったように見えるので、この名がついた

烏森皇大神宮 (沼皇大神宮)



832年に社殿造立の記録があり、樹齢数百年のイチヨウ、タブ、ケヤキなどの大木があります。8月17日の例祭には、源義経、徳川家康、日本武尊などの盛装した人形山車9基が出て、祭を盛り上げます。